

執筆者紹介（掲載順）

櫛井亜依（愛知淑徳大学常勤講師）

梅田昌孝（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

王欣（武漢大学外国語学院専任講師）

グレゴリー・ケズナジャット（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

佐藤貴之（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

杉岡歩美（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

田中裕也（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

丸山健一郎（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

生井真理子（本学嘱託講師）

翻刻の会（本学学部在学学生と本学教授山田和人）

編集後記

「同志社国文学」第七十七号をお届けする。本号では、古代文学から現代文学に至る七本の研究論文と、三本の資料紹介・翻刻を掲載した。大学院生や卒業生、あるいは留学生の研究成果を幅広く世に問うことができたのは、同志社大学国文学会が歴史を刻んできた証でもある。二〇一四年には設立五十周年を迎える同志社大学国文学会では、第八十一号を記念号として発行する企画を暖めている。本号に掲載した論文の評価は読者に委ねるしかないが、さらに充実した内容となるよう積極的な投稿をお願いしたい。

なお、本誌は編集委員を中心として、投稿論文に対し査読を行っている。投稿規定をお読みいただき、枚数・形式などを整え、完成原稿としてご投稿ください。